

地域連携アクティブスクールの取組と成果

地域とともに生きる自立した社会人を育成

- ・インターンシップ
受入れ企業の開拓
- ・民間企業の実情を熟知
- ・社会のニーズを踏まえた
指導・助言
- ・広報、啓発活動

キャリア教育支援コーディネーター
(企業・行政機関のOB 等)

スクールソーシャルワーカー
(社会福祉士、精神保健福祉士 等)

- ・個別の指導計画作成
- ・民生委員や児童相談所と連携
- ・対応事例は多様
不登校、虐待、家出、経済的困窮
人間関係のつまずき、発達障害
- ・課題を整理し、関係機関に働きかけ

学ぶ意欲に応える学習指導

- ・学校設定科目
「ベーシック」「ステップアップ」
- ・大学生も加えた、きめ細かな複数指導体制
- ・少人数指導、習熟度別授業

- 志願理由の第1位…学び直しがあるから
- 学び直しに満足している割合…80%
- 入学して良かった生徒の割合…88%

<生徒や保護者の声>

- ・頑張り次第で自分の力が向上できる。勉強に対する意識が変わった。
- ・学び直しのおかげで意欲と自信がついた。
- ・中学時代によくわからなかったことが、確実に身に付いた。
- ・社会人となったときに役に立つ授業だ。

実践的なキャリア教育

- ・「産業社会と人間」を導入
- ・多彩な講師陣
ジョブカフェ、子どもと親のサポートセンター
地域若者サポートセンター、ロータリークラブ
NPO法人、市の生涯学習センター
- ・ボランティア活動を通じたコミュニケーション能力の育成

<生徒や保護者の声>

- ・1年生から、将来に向き合う時間がある。
- ・一人一人の進路について真剣に考えてくれる。
- ・様々な職業の人の意見が聞けた。
- ・自分の居場所を見つけることができ、うれしく思う。

<中学校の声>

- ・生徒の心が育っていると感じる。

<企業の声>

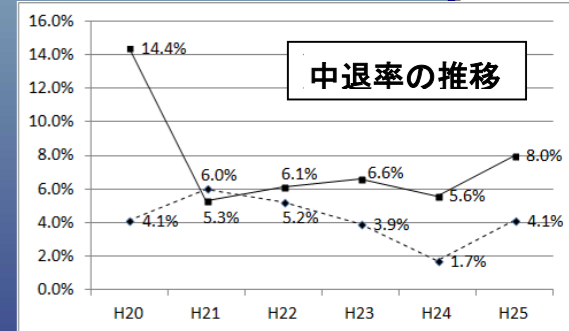
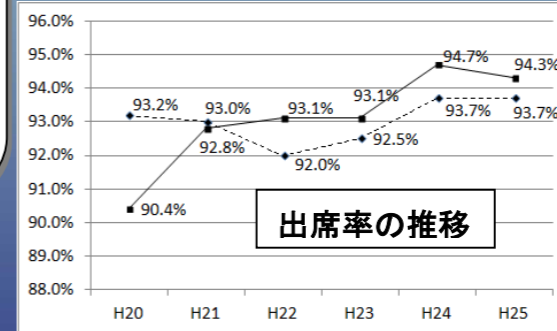
- ・インターンシップは有効である。
- ・まじめに取り組む姿勢に、刺激を受けた。

地域との連携

- ・推進協議会開催による、多様な意見の集約
- ・生徒支援のための地域フォーラム開催
- ・農業体験の実施
- ・地域と密着した部活動の取組
出前演奏会、地域の清掃活動

<生徒や保護者の声>

- ・地域との関わりは大切。学校全体で向き合っているのは素晴らしい。
- ・学校外で直接学べる、夢を現実に近づける場があることは良い。



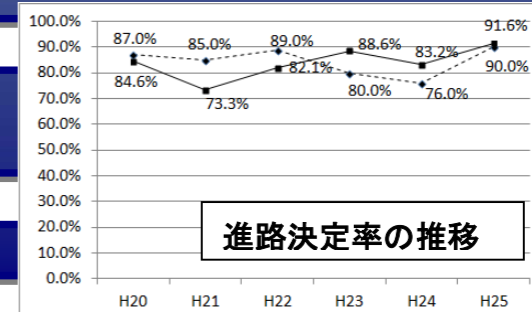
<大学生の声>

- ・生徒の実態や授業の進め方を学ぶことができた。
- ・人前で発表することが増え、苦手意識を克服できた。

学習サポートボランティア
(教職課程を履修する近隣の大学生)

独自の入学者選抜

- ・一期 国数英3教科、作文、面接
- ・二期 学校独自問題(口頭試問含む)、面接
意欲や思いを重視



グラフの見方

- ◆---◆ …泉高校
- ◆---◆ …天羽高校
- ・文部科学省の研究指定
……H21・22
- ・地域連携アクティブスクール
設置……H24

取組内容の整理、アンケート調査は、26年度に実施。対象は2校のみ。
(泉高校・天羽高校)

中学校では十分力を発揮しきれなかったけれど、高校で心機一転がんばりたい!